

部局名

農学部 応用生物科学科

担当: 榊原 陽一



テーマ

タンパク質の魅力に迫る



皆さんはタンパク質と聞いて何を想像しますか？ 私たちの日常生活においては栄養素としての「タンパク質」やアスリートが摂取する「プロテイン」という言葉をよく耳にします。

私たちは、タンパク質が生物のなかでどんな働きをしているのか詳しく探り、人類に役立てる研究をしています。タンパク質の研究が、食糧問題解決、病気の予防・診断、新薬の開発など、人類の明るい未来につながる研究へと展開していくことが期待されます。

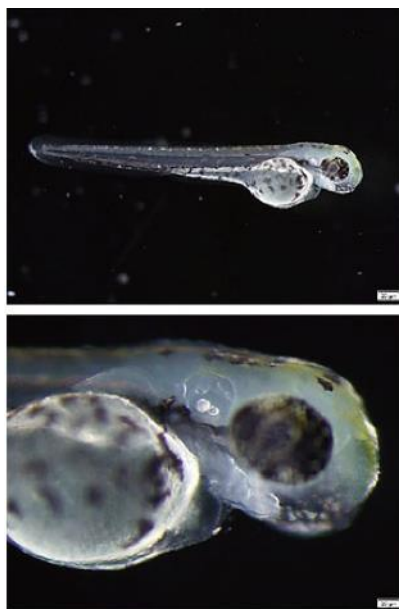


詳細内容はQRコードから確認できます

のうがく図鑑: <http://www.miyazaki-u.ac.jp/agr/books/book-abs/post-58.html>



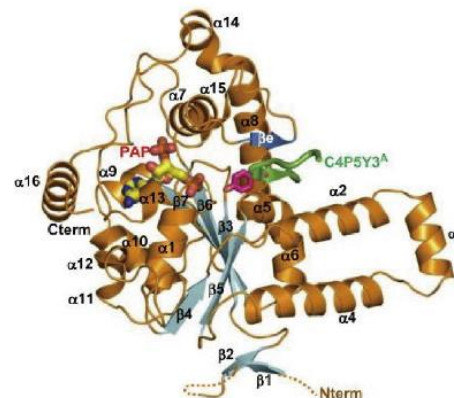
(A) シロイヌナズナ



(B) ゼブラフィッシュ

### 研究で使用しているモデル生物のデータ画像

農学部ですが、植物のモデルであるシロイヌナズナや、魚類モデルであるゼブラフィッシュも使います。



### Tyrosylprotein Sulfotransferaseの立体構造

タンパク質の形を知る研究もしています。新しい薬の開発につながる成果が期待されます。



### タンパク質の解析に使う質量分析装置

日本人のノーベル賞受賞者、田中耕一先生の技術が使用された装置を活用して、未知タンパク質の素性を明らかにすることができます。